



2021年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月11日
東

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所
 コード番号 9632 URL <https://subaru-kougyou.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 泉治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 松丸 光成 (TEL) (03) 3213-2861
 定時株主総会開催予定日 2021年4月28日 配当支払開始予定日 2021年4月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年4月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期の連結業績（2020年2月1日～2021年1月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期	27,460	0.9	4,048	△1.0	4,121	△0.2	2,635	△17.1
2020年1月期	27,211	8.1	4,090	33.6	4,129	43.2	3,177	74.6

(注) 包括利益 2021年1月期 2,632百万円 (△17.1%) 2020年1月期 3,177百万円 (72.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年1月期	1,025.55	—	10.3	13.2	14.7
2020年1月期	1,236.20	—	13.5	14.4	15.0

(参考) 持分法投資損益 2021年1月期 ー百万円 2020年1月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期	31,819	26,542	83.1	10,296.59
2020年1月期	30,554	24,916	81.3	9,662.31

(参考) 自己資本 2021年1月期 26,454百万円 2020年1月期 24,829百万円

3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月期	2,923	△1,959	△1,019	10,382
2020年1月期	3,543	△6	△501	10,438

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年1月期	—	50.00	—	290.00	340.00	873	27.5	3.7
2021年1月期	—	100.00	—	240.00	340.00	873	33.2	3.4
2022年1月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00		19.5	

(注) 期末配当金の内訳 2020年1月期 普通配当金 50円 特別配当240円
 2021年1月期 普通配当金100円 特別配当 90円 記念配当50円

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	1.2	4,000	△1.2	4,040	△2.0	2,640	0.2	1,027.43

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期	2,662,000株	2020年1月期	2,662,000株
② 期末自己株式数	2021年1月期	92,792株	2020年1月期	92,266株
③ 期中平均株式数	2021年1月期	2,569,502株	2020年1月期	2,570,354株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府による緊急事態宣言が2度にわたり発令される等、社会経済活動が大きく制限されたことにより個人消費が大幅に減少し、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループにおいても、飲食店舗の臨時休業や時短営業を余儀なくされたほか、マリーナ施設の利用者数が減少する等、レジャー事業の業績に多大な影響が及びました。一方、主力事業である道路関連事業においては、感染予防策を徹底し日常業務の継続に努めたことにより、概ね順調に稼働しました。

以上の結果、3か年計画《中期経営戦略2019-2022 TRY! 2022》の2年目にあたる当連結会計年度における売上高は274億6千万円（前期比0.9%増）、営業利益は40億4千8百万円（前期比1.0%減）、経常利益は41億2千1百万円（前期比0.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上した『銀座スバルビル』の売却益減少や、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた個別事業所の業績見通しを精査した結果、一部事業用資産に対する減損損失3億2千4百万円を計上したことにより、26億3千5百万円（前期比17.1%減）となりました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

(道路関連事業)

道路関連事業は、政府による国土強靱化計画をはじめとした関連予算の執行により、公共投資が堅調に推移しましたが、建設技能者の不足による労務費の上昇や資機材価格の高騰もあり、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染予防策の徹底により、期中を通し安定した施工体制の堅持に努めました。また、継続的な受注の確保を目指し積算精度の向上を図るとともに、高速道路等の維持補修工事において積極的な技術提案等を行い追加受注に努め、業務の効率化や原価管理の徹底による収益性の向上を図った結果、売上高は247億9千2百万円（前期比3.6%増）、セグメント利益は43億6千7百万円（前期比3.6%減）となりました。

(レジャー事業)

飲食部門は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業時間の短縮や外出自粛要請により、極めて厳しい事業環境で推移しました。このような状況のなか、お客様が安心して利用できる店舗運営の徹底を図るとともに、テイクアウト商品の店頭販売や、デリバリー販売を実施する等、消費者ニーズへの対応に努めましたが、売上高は前期を大きく下回りました。

マリーナ部門は、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』の両マリーナでの船舶係留数は年間を通し高水準で推移しましたが、マリンフェスティバル等のイベントの自粛、施設内の給油所における燃料販売の減少やバーベキュー場利用者の減少等により、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は19億4千8百万円（前期比26.2%減）、セグメント利益は4千8百万円（前期比64.8%減）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた一部テナントからの賃料減額要請に応じるとともに、商業ビルの共用部において感染予防策を徹底する等、テナントの安心・安全に配慮した物件管理に努めました。

また、当社の不動産戦略に則り、安定した収益が望める新規事業用地を取得し賃貸を開始したことにより、売上高は7億1千8百万円（前期比12.4%増）、セグメント利益は4億1千1百万円（前期比35.5%増）となりました。

なお、新規事業用地は、期中3月に兵庫県西宮市内に、同6月に神奈川県相模原市内に、同10月に広島県広島市内に取得し、それぞれ賃貸を開始しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、短期貸付金、保険積立金の減少等がありましたが、受取手形及び売掛金、未成工事支出金の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ12億6千5百万円増の318億1千9百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ3億6千万円減の52億7千7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ16億2千5百万円増の265億4千2百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ5千5百万円減少し、103億8千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、29億2千3百万円(前年同期比6億1千9百万円減)となりました。これは主に売上債権の増加2億5千2百万円、法人税等の支払額16億8千8百万円等により資金の減少があったものの、税金等調整前当期純利益38億8千8百万円、減価償却費6億6百万円、減損損失3億2千4百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、19億5千9百万円(前年同期は6百万円の資金減)となりました。これは主に有形固定資産の取得によ支出33億2千8百万円、貸付金の回収による収入12億円、保険積立金の積み立による支出8千1百万円、保険積立金の解約による収入2億4千2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、10億1千9百万円(前年同期は5億1百万円の資金減)となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループに次期の見通しにつきましては、売上高278億円(前年同期比1.2%増)、営業利益は、40億円(前年同期比1.2%減)、経常利益40億4千万円(前年同期比2.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、26億4千万円(前年同期比0.2%増)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息時期については、現時点では見通しが不透明であります。主力の道路事業における道路の維持管理業務の需要が継続されており、通期業績が大きく下振れすることはないと考えております。今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性や、事業内容等を踏まえ、日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を勘案の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当連結会計年度 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,455,571	10,387,569
受取手形及び売掛金	5,871,482	6,124,051
商品	70,347	54,470
未成工事支出金	836,226	1,041,152
原材料及び貯蔵品	229,236	142,885
短期貸付金	1,200,600	1,000
その他	100,889	70,663
貸倒引当金	△60,022	△30,882
流動資産合計	18,704,330	17,790,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,587,168	2,244,728
機械装置及び運搬具(純額)	1,523,702	1,437,787
土地	5,009,544	7,673,525
リース資産(純額)	4,753	11,470
建設仮勘定	—	25,000
その他(純額)	149,295	111,679
有形固定資産合計	9,274,463	11,504,191
無形固定資産		
のれん	553,907	480,053
その他	67,562	60,104
無形固定資産合計	621,470	540,157
投資その他の資産		
投資有価証券	298,702	294,182
繰延税金資産	159,769	268,521
差入保証金	751,302	788,315
保険積立金	607,286	496,484
その他	367,000	352,771
貸倒引当金	△229,760	△215,570
投資その他の資産合計	1,954,302	1,984,705
固定資産合計	11,850,236	14,029,054
資産合計	30,554,566	31,819,965

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当連結会計年度 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,776,042	1,670,046
リース債務	4,921	15,709
未払法人税等	1,052,739	719,528
賞与引当金	128,852	133,946
役員賞与引当金	20,070	23,400
資産除去債務	—	2,200
その他	1,567,951	1,724,242
流動負債合計	4,550,577	4,289,072
固定負債		
リース債務	8,843	44,469
繰延税金負債	9,378	4,022
退職給付に係る負債	269,802	273,129
資産除去債務	237,764	234,271
その他	561,854	432,874
固定負債合計	1,087,643	988,766
負債合計	5,638,221	5,277,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,273,811	1,273,811
利益剰余金	22,570,721	24,203,694
自己株式	△350,503	△354,786
株主資本合計	24,825,029	26,453,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,532	372
その他の包括利益累計額合計	4,532	372
非支配株主持分	86,784	88,035
純資産合計	24,916,345	26,542,125
負債純資産合計	30,554,566	31,819,965

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
売上高	27,211,572	27,460,340
営業費用	21,120,750	21,620,566
売上総利益	6,090,822	5,839,774
一般管理費	2,000,224	1,791,574
営業利益	4,090,597	4,048,200
営業外収益		
受取利息	1,660	881
受取配当金	5,279	5,888
固定資産売却益	3,859	3,306
受取保険金	17,934	14,866
受取補償金	—	12,607
助成金収入	—	15,683
その他	17,346	25,637
営業外収益合計	46,080	78,872
営業外費用		
為替差損	137	612
貸倒引当金繰入額	1,944	—
その他	4,839	4,918
営業外費用合計	6,920	5,530
経常利益	4,129,757	4,121,541
特別利益		
固定資産売却益	609,751	—
保険解約返戻金	2,640	51,448
受取和解金	—	200,000
特別利益合計	612,391	251,448
特別損失		
固定資産売却損	30,822	6,773
減損損失	2,599	324,590
固定資産圧縮損	—	153,571
特別損失合計	33,422	484,934
税金等調整前当期純利益	4,708,727	3,888,055
法人税、住民税及び事業税	1,558,088	1,365,293
法人税等調整額	△27,359	△113,718
法人税等合計	1,530,728	1,251,574
当期純利益	3,177,998	2,636,480
非支配株主に帰属する当期純利益	532	1,330
親会社株主に帰属する当期純利益	3,177,466	2,635,150

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
当期純利益	3,177,998	2,636,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△817	△4,160
その他の包括利益合計	△817	△4,160
包括利益	3,177,180	2,632,320
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,176,648	2,630,989
非支配株主に係る包括利益	532	1,330

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,331,000	1,273,811	19,881,673	△343,519	22,142,965
当期変動額					
剰余金の配当			△488,418		△488,418
親会社株主に帰属する当期純利益			3,177,466		3,177,466
自己株式の取得				△6,983	△6,983
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,689,047	△6,983	2,682,063
当期末残高	1,331,000	1,273,811	22,570,721	△350,503	24,825,029

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,350	5,350	86,410	22,234,726
当期変動額				
剰余金の配当				△488,418
親会社株主に帰属する当期純利益				3,177,466
自己株式の取得				△6,983
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△817	△817	373	△444
当期変動額合計	△817	△817	373	2,681,619
当期末残高	4,532	4,532	86,784	24,916,345

当連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,331,000	1,273,811	22,570,721	△350,503	24,825,029
当期変動額					
剰余金の配当			△1,002,177		△1,002,177
親会社株主に帰属する当期純利益			2,635,150		2,635,150
自己株式の取得				△4,283	△4,283
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,632,972	△4,283	1,628,689
当期末残高	1,331,000	1,273,811	24,203,694	△354,786	26,453,718

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,532	4,532	86,784	24,916,345
当期変動額				
剰余金の配当				△1,002,177
親会社株主に帰属する当期純利益				2,635,150
自己株式の取得				△4,283
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,160	△4,160	1,251	△2,909
当期変動額合計	△4,160	△4,160	1,251	1,625,780
当期末残高	372	372	88,035	26,542,125

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,708,727	3,888,055
減価償却費	597,226	606,675
減損損失	2,599	324,590
のれん償却額	73,854	73,854
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,992	△43,330
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,979	5,094
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,690	3,330
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,369	3,326
有形固定資産売却損益(△は益)	△581,718	3,538
固定資産圧縮損	—	153,571
受取利息及び受取配当金	△6,939	△5,882
為替差損益(△は益)	137	612
保険解約返戻金	△2,640	△51,448
受取和解金	—	△200,000
売上債権の増減額(△は増加)	△675,665	△252,568
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65,657	△102,698
仕入債務の増減額(△は減少)	1,733	△105,990
未払消費税等の増減額(△は減少)	203,923	27,816
その他	331,968	77,908
小計	4,611,460	4,406,455
利息及び配当金の受取額	6,939	5,857
和解金の受取額	—	200,000
法人税等の支払額	△1,074,932	△1,688,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,543,468	2,923,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,048	—
定期預金の払戻による収入	12,047	12,048
有形固定資産の取得による支出	△1,336,172	△3,328,536
有形固定資産の売却による収入	1,103,590	10,495
貸付けによる支出	△600	△1,200
貸付金の回収による収入	99	1,200,849
保険積立金の積立による支出	△71,323	△81,638
保険積立金の解約による収入	208,933	242,667
その他	89,273	△14,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,200	△1,959,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△6,983	△4,283
配当金の支払額	△488,556	△999,683
非支配株主への配当金の支払額	△158	△79
その他	△5,652	△15,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,352	△1,019,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	△618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,035,772	△55,952
現金及び現金同等物の期首残高	7,402,749	10,438,522
現金及び現金同等物の期末残高	10,438,522	10,382,569

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、道路関連事業、レジャー事業、不動産事業を営んでおり、これを当社グループの報告セグメントとしております。

「道路関連事業」は、道路の維持清掃・維持補修工事、高速道路施設の受託運營業務及び太陽光発電事業を行っております。

「レジャー事業」は、飲食、物販などの顧客サービス事業及びマリーナの管理運営を行っております。

「不動産事業」は、不動産賃貸業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年2月1日 至 2020年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,931,931	2,640,124	639,516	27,211,572	—	27,211,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	681,454	52,461	733,916	△733,916	—
計	23,931,931	3,321,578	691,978	27,945,488	△733,916	27,211,572
セグメント利益	4,531,895	137,104	303,716	4,972,716	△882,118	4,090,597
セグメント資産	17,366,870	1,900,321	4,597,201	23,864,392	6,690,174	30,554,566
その他の項目						
減価償却費	400,974	98,075	86,727	585,776	11,449	597,226
減損損失	—	—	2,599	2,599	—	2,599
のれんの償却額	73,854	—	—	73,854	—	73,854
のれんの未償却残高	553,907	—	—	553,907	—	553,907
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	400,658	235,532	713,590	1,349,781	24,965	1,374,746

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△882,118千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額6,690,174千円は、連結財務諸表提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び総務・経理等管理部門に係る資産等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,792,680	1,948,739	718,921	27,460,340	—	27,460,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	546,860	49,077	595,937	△595,937	—
計	24,792,680	2,495,599	767,998	28,056,278	△595,937	27,460,340
セグメント利益	4,367,317	48,314	411,499	4,827,130	△778,930	4,048,200
セグメント資産	17,798,793	1,316,679	7,232,506	26,347,978	5,471,986	31,819,965
その他の項目						
減価償却費	424,257	89,192	82,577	596,027	10,648	606,675
減損損失	260,560	64,029	—	324,590	—	324,590
のれんの償却額	73,854	—	—	73,854	—	73,854
のれんの未償却残高	480,053	—	—	480,053	—	480,053
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	549,746	67,677	2,702,065	3,319,489	1,761	3,321,251

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△778,930千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額5,471,986千円は、連結財務諸表提出会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び総務・経理等管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
1株当たり純資産額	9,662.31円	10,296.59円
1株当たり当期純利益	1,236.20円	1,025.55円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,177,466	2,635,150
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,177,466	2,635,150
普通株式の期中平均株式数(株)	2,570,354	2,569,502

(重要な後発事象)

該当事項はありません。